

結果報告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月25日(木)	試合番号	2-8	回戦	1回戦
種別	男子 女子	会場	枇杷島SC ・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
HC名古屋			HC和歌山		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	8	前半	12	19	
	12	後半	7		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記入者

宮島 涼

試合序盤のペースをつかんだのは、名古屋。8番竹内のサイドシュートを皮切りに連続得点で試合開始5分4-0と試合を優勢に進める。対する和歌山は、立ち上がりこそ遅れたが、ペナルティスローを含めた8番村坂の4連続得点や、ポストを活かしたプレーが光り、開始15分で逆転に成功。その後も、試合の流れを渡さない和歌山が12-8でリードをし前半を終えた。

後半に入り、ポストを使ったパワープレーとサイドを活かした速攻で得点を重ねる和歌山。地元の声援にこたえたい名古屋も、和歌山の5番中村に対してマンツーマンDFをつけたことで、流れを掴んだ。速攻を含む5連続得点で粘りを見せ、最大8点の点差を残り1分で同点に追いつき、ラスト5秒で4番福井のシュートが決まり、20-19で名古屋が逆転する劇的な幕切れとなった。